

平成 24 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 25 年 6 月

鳥取県立精神保健福祉センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	7 頁
8	収入事務処理状況調べ	7 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	8 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8 頁
11	不納欠損額調べ	8 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9 頁
14	財産に関する調べ	10 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12 頁
20	備品の処分状況調べ	12 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12 頁

精神保健福祉センター個別事項	
22	当該年度における業務の概要 13頁
23	技術指導・技術援助の実施状況..... 13頁
24	教育研修の実施状況..... 14頁
25	広報普及状況..... 18頁
26	精神保健福祉相談の受付状況..... 18頁
27	新規所内相談の実施状況..... 18頁
28	新規所外相談者の地域別状況..... 19頁
29	新規電話相談の実施状況..... 19頁
30	組織育成の状況..... 20頁
31	くらしの講座の実施状況..... 21頁
32	イブニングサークルの実施状況..... 21頁
33	通院公費負担医療・精神障害者保健福祉手帳交付判定の状況..... 21頁
34	鳥取県精神医療審査会における審査状況..... 21頁
35	主な施設の整備状況..... 21頁
36	意見、要望等..... 21頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係名	課の主な所掌事務
こころの健康増進課	なし	1 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する調査研究に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第45条第1項の申請に対する決定及び「障害者自立支援法」第52条第1項に規定する支給認定（精神障害者に係るものに限る。）に関する事務のうち専門的な知識及び技術を必要とするものを行なうこと。 5 各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。
地域支援課	なし	1 精神障がい者の社会参加・社会復帰の促進に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 鳥取県精神医療審査会に関すること。 5 前各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

（平成25年 4月 1日現在）

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	
定員		6	6	4	4	0	0	10	10	
現員		6	6	4	(1) 5	0	0	10	(1) 11	()内は現員のうち育児休業中職員
過不足(△)		0	0	0	+1	0	0	0	+1	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		1	1	0	0	0	0	1	1	事務員(1名) 「自殺対策情報センター」職員

5 役付職員の調べ

(平成25年 6月 1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
福祉保健部参事監 兼 所長 兼 地域支援課長	原 田 豊	年 月 2 1 8	
次長 兼 こころの健康 増進課長	大 塚 月 子	2 2	継続勤務 7年2月
地域支援課 課長補佐	山 下 善 大	2 2	
(併) 地域支援課医長	植 田 俊 幸	6 8	本務 厚生病院医長
(兼) 課長補佐	奥 田 雅 裕	2 2	出納員 本務 東部振興監東部振興課 東部会計分室課長補佐

6 主な事業に関する調べ

事 業 名	概 要
自殺対策事業 (経費は、精神保健福祉センター運営費の標準事務費(5,664千円)及び自殺対策緊急強化事業により対応)	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目 的 自殺対策基本法では、自殺対策は地方公共団体の責務であり、地域の状況に応じて取り組むこととされており、市町村及び総合事務所福祉保健局等(以下、市町村等)の自殺対策の推進を図るため、専門的立場から技術的支援等を行うとともに、自死遺族支援を行った。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 【自殺対策情報センターの運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人材育成研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村保健師等を対象に自殺予防ゲートキーパー指導者養成研修会を東・中・西部でそれぞれ1回ずつ開催した。(16頁参照) ※ゲートキーパーとは、地域や医療、保健、福祉、職場、教育などの分野における支援活動において、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて関係する専門機関へつなぐ役割が期待される人材のこと。 ○ 情報収集・情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・自殺に関する統計データをまとめた「鳥取県の自殺」を作成し、ホームページに掲載した。 ○ 関係機関のネットワークの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・各総合事務所福祉保健局の担当者等を集めた連絡調整会議を開催し、各圏域ごとの取組みについて情報交換等を行った。(3回) ・各総合事務所福祉保健局が開催する自殺対策担当者連絡会、相談窓口担当者連絡会に参加し、各機関の取組み状況について情報収集するとともに、情報提供、助言等を行った。

事業名	概要														
	<p>【技術的支援（主なもの）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合事務所及び市町村が行う自殺対策事業に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策担当者連絡会、相談窓口担当者連絡会において助言を行った（12回）。 ・自殺対策講演会、ゲートキーパー研修会等への講師派遣等を行った。 ・ゲートキーパー研修会で活用できる「自殺予防のための相談対応の手引き」（リーフレット）及びパワーポイント等を作成し、配布した。 ○ 日南町こころの健康づくり事業に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・日南町ネットワーク会議及び研修会（1回） ・こころの健康づくり連絡会及びこころの健康相談（5回） <p>【自死遺族支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自死遺族の集い」を毎月1回、鳥取市さざんか会館（偶数月）と米子市ふれあいの里（奇数月）で土曜日に開催した。 <p>[参加者数] (単位:人、括弧内は新規再掲)</p> <table border="1" data-bbox="459 790 1469 871"> <tr> <td>鳥取</td> <td>4月: 2(0)</td> <td>6月: 4(0)</td> <td>8月: 4(0)</td> <td>10月: 3(0)</td> <td>12月: 2(0)</td> <td>2月: 3(0)</td> </tr> <tr> <td>米子</td> <td>5月: 5(2)</td> <td>7月: 4(0)</td> <td>9月: 4(0)</td> <td>11月: 3(0)</td> <td>1月: 5(1)</td> <td>3月: 2(0)</td> </tr> </table> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ゲートキーパー指導者養成研修会を年度当初に開催したほか、市町村等が活用できるようリーフレット等を作成・配布し、市町村保健師等がゲートキーパー養成研修に取組みやすいよう支援を行った。</p> <p>ウ 成果 市町村等の行うゲートキーパー研修の開催回数、受講者数ともに増加した。 平成23年度 40回開催、受講者(延)約 1,700人 平成24年度 59回開催、受講者(延)約 3,100人</p> <p>エ 課題 ゲートキーパーの養成を行う市町村等への技術的指導を行うなど、今後も引き続き地域での自殺対策が推進されるように取り組む必要がある。 自死遺族の集いは、新規参加者が少ない状況にある。参加された方の中には新聞広告や市報などを見て参加したという方もあったので、自助グループとも連携しながら引き続き会の案内周知を行うことが必要である。</p>	鳥取	4月: 2(0)	6月: 4(0)	8月: 4(0)	10月: 3(0)	12月: 2(0)	2月: 3(0)	米子	5月: 5(2)	7月: 4(0)	9月: 4(0)	11月: 3(0)	1月: 5(1)	3月: 2(0)
鳥取	4月: 2(0)	6月: 4(0)	8月: 4(0)	10月: 3(0)	12月: 2(0)	2月: 3(0)									
米子	5月: 5(2)	7月: 4(0)	9月: 4(0)	11月: 3(0)	1月: 5(1)	3月: 2(0)									
<p>ひきこもり支援 機関連絡会</p> <p>(経費は、精神保健福祉センター運営費の標準事務費(5,664千円)により対応)</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>ひきこもりは、長期化すると社会生活を再開することが困難になることが多く、また、中には何らかの障がいや精神疾患を認める者もあり、精神科医療や障がい福祉サービスに繋ぐことが必要な場合もあることから、早期に介入し支援を行うことが重要である。関係機関が連携を図ることで総合的なひきこもり支援が行えるよう、専門的な立場から助言等を行う。</p>														

事業名	概要												
	<p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回(第2木曜日)開催 ・事例について、支援にいたる経緯や支援内容等を情報交換し、今後の支援方針を検討した。 <p><連絡会の参加機関></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとりひきこもり生活支援センター(県がNPO法人鳥取青少年ピアサポートに委託、ひきこもりの状態にある本人、保護者への相談を行なう) ・とっとり若者サポートステーション(国が社会福祉法人鳥取こども学園に委託、若者無業者本人及び保護者への職業的自立の支援を行なう) ・各総合事務所福祉保健局 ・相談支援センターサマーハウス(東部4町が委託、自宅にひきこもり、障がい福祉施策に関する情報が行き届いていない障がい者等への家庭訪問を実施) <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、新たに相談支援センターサマーハウスにも参加を呼びかけ、より多くの機関と連携が図れるようにした。 ・毎回の検討結果は事例毎に整理し、いつでも関係機関からの相談に対応できるように工夫した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加機関が増えたことで、より多くの情報が共有できるようになった。 ・多くの事例について、関係機関の連携が図れるようになった。 <p>[検討事例数]</p> <table border="1" data-bbox="568 1234 1267 1357"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>38人</td> <td>64人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>延人数</td> <td>165人</td> <td>157人</td> <td>138人</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 課題</p> <p>長期化したひきこもりをもつ家族は高齢化しており、特に40代後半以上の年齢になるひきこもり本人への支援は、社会参加を促す職場体験や就労支援だけでなく、地域で生活するための経済的支援や自立した生活をおくるための生活支援などが必要となることから、今後は、市町村福祉課や障がい福祉課等との連携を視野に入れた支援が必要である。</p>		平成22年度	平成23年度	平成24年度	実人数	38人	64人	62人	延人数	165人	157人	138人
	平成22年度	平成23年度	平成24年度										
実人数	38人	64人	62人										
延人数	165人	157人	138人										
東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>アルコール関連問題については、保健、医療、福祉の関係機関はもとより、職場、地域、家庭のなかにも様々な課題がある。それらの課題を解決していくためには、各関係機関が連携して取り組むことが必要である。各関係機関が、事例検討・情報交換を通してネットワークを作ることを目的に研究会を開催する。</p>												

事業名	概要
<p>決算額 149千円 (財源内訳) 国庫支出金 49千円 一般財源 100千円</p>	<p>(イ) 実施状況 本年度6回開催 (17頁参照)</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 アルコールに問題のある事例の中には、ギャンブル依存や薬物依存の問題も持っている事例もあることから、ギャンブルや薬物依存についても取り上げた。特に、薬物依存については、鳥取ダルクからの参加もあったので、薬物依存の当事者として話をしていただいた。</p> <p>ウ 成果 ギャンブルや薬物依存などの内容を取り上げたことで、それまで参加のなかった機関(法務局等)からの参加があった。 参加者からは、「弁護士による講義は事例対応において参考になる」、「会に参加することで他機関との情報交換ができ、連携が取りやすくなる」等の意見があった。</p> <p>エ 課題 関係機関同士の連携がより円滑に図れるように、新規の参加者にも引き続き継続参加してもらえるよう、内容等について工夫していく必要がある。</p>
<p>精神障がい者地域移行支援強化事業</p> <p>決算額 132千円 (財源内訳) 一般財源 132千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 精神障がい者の地域移行支援を行う人材の育成及び資質の向上を図ること等により、地域移行・地域定着支援事業が推進するよう支援を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 各種の研修会を開催し、人材育成を行った。 ・地域移行・地域定着研修会(14頁参照) 地域移行支援事業の取組み報告と事業説明 ・退院調整・地域移行支援従事者養成研修(15頁参照) 県の地域移行支援事業及び精神科医療機関における地域移行支援の取組み状況と今後の展開について(講義、実践報告、事例検討等)</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 これまでの地域移行支援事業の取組みを共有し今後の地域移行を継続するために県内医療機関等での実践報告を実施した。</p> <p>ウ 成果 医療機関等において地域移行支援の取組みが定着してきており、関係機関職員の意識向上や専門職のスキルアップにつながっている。</p> <p>エ 課題 精神障がい者が退院して地域生活を送るためには、医療機関および相談支援事業所の支援が重要である。 精神障がいの特性および地域移行支援事業の理解と支援のスキルアップを図り医療機関および相談支援事業所での普遍的で実践的な支援となるために、引き続き系統的な研修会を行うことが必要である。</p>

事業名	概要						
<p>くらしの講座</p> <p>決算額 358千円 (財源内訳)</p> <p>国庫支出金 119千円</p> <p>一般財源 239千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 精神障がいのある方が、講座を通して、病気や障がいの理解の促進、趣味活動の幅の拡大及び健康の増進を行うことで、地域で自分らしい生活をしていくことを支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 週1～2回(月・木曜日)午後1時30分～3時30分 ・4か月1クールに期間を区切り、平成24年度は3クール実施した。 ・全講義の利用者数は、実利用者数42人 延利用者数245人 <p>【講座内容】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 学習講座</td> <td>2 健康管理講座</td> <td>3 リラックス講座</td> </tr> <tr> <td>4 ソフトバレーボール講座</td> <td>5 趣味講座(手芸)</td> <td></td> </tr> </table> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>平成18年度より学習講座は開催しているが、何度か受講される方もあるため内容に新しい情報を取り入れるなど工夫した。また福祉サービス事業所に通所中の方や就労を目指す方が増えたため、新たに「就労について」の講座を行った。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習講座において、同じシリーズで2回開催した結果、精神科医療機関通院中及び就労継続支援事業所等通所中の方の新規受講者もあり、普段の生活では機会の少ない学習や当事者同士の意見交換の場の提供ができた。 ・健康管理講座において、参加者の状況に合わせてテーマを設定し、情報提供と参加者同士で情報交換等を行った。その後、それぞれの生活で部分的に取り入れている様子も見られた。 <p>エ 課題</p> <p>当講座は、単一の医療機関・支援機関を利用することが多い精神障がい者にとって、他の医療機関等の利用者との相互交流及び情報交換が行える場となりつつある。学習講座や健康管理講座などにおいては、今後とも利用者の交流や情報交換が深まる内容や、実施方法を工夫をしていく必要がある。</p>	1 学習講座	2 健康管理講座	3 リラックス講座	4 ソフトバレーボール講座	5 趣味講座(手芸)	
1 学習講座	2 健康管理講座	3 リラックス講座					
4 ソフトバレーボール講座	5 趣味講座(手芸)						

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成25年5月31日現在)
(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節						
行政財産使用料	行政財産使用料	鳥取県精神障害者家族会連合会事務局の使用にかかるもの	3	29,176	29,176	0	0	鳥取県行政財産使用料条例
	計(節)			29,176	29,176	0		
目計			3	29,176	29,176	0		
合計			3	29,176	29,176	0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成25年5月31日現在)
(単位:円)

収 入 科 目			件 数	調 定 金 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	根 拠 法 令 名 等	備 考
目	節	細 節							
雑入	雑入	精神障害者家族 会連合会利用分 光熱水費等	3	7,802	7,802	0	0	公有財産事務取扱 要領	
		自立支援医療 意見書作成料	5	25,200	25,200	0	0	障害程度区分の医師 意見書の取扱い及び これに係る施行事務 補助金について(厚 生労働省事務連絡)	
目 計			8	33,002	33,002	0	0		
合 計			8	33,002	33,002	0	0		

(6) 現金の取扱状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金、委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成25年5月31日現在)
(単位：円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
(精神衛生費) 支出額が10万円 未満のもの						50,000		
目 計						50,000		
合 計						50,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料 該当なし

1 3 工事請負費調べ 該当なし

1.4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成25年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)	
行政財産	本館	鳥取市江津318-1	972.80	202,620,785					無		972.80	202,620,785	
	車庫	鳥取市江津318-1	32.50	4,757,295					無		32.50	4,757,295	
	自転車置場	鳥取市江津318-1	8.11	1,107,769					無		8.11	1,107,769	
合計			1,013.41	208,485,849							1,013.41	208,485,849	

ウ 山林 該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払い状況

(平成25年5月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手類	57,440 円	219,550 円	196,290 円	80,700 円	
合計	57,440	219,550	196,290	80,700	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成 25年5月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
156 枚	0 枚	0 枚 0 円	156 枚

(3) 債権 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成25年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	団体事務局	鳥取市江津318-1	3.3 m ²	H24.4.1	H15.4.1	H24.4.1 ~ H25.3.31	月額・年額 21,280	円 21,280	鳥取県精神障害者家族会連合会	
計								21,280		
普通財産		該当なし					月額・年額			
計										
合計								21,280		

(2) 物品 該当なし

- 1 6 借受不動産明細調べ 該当なし
- 1 7 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 1 8 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 1 9 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 2 0 備品の処分状況調べ 該当なし
- 2 1 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし